

「有事法制」は、

国民を悲劇に突き落とす！

―世界平和なくして、日本の未来はない―

日本列島は、空母ではない。

いくらミサイルを撃ち込まれても、

沈没する心配はない。だから……

「不沈空母日本を、どうぞご利用ください」と、

米政府に言った元首相がいたという。

なんという恐ろしい考えであろうか

国民はミサイル・空爆・最悪の場合は核攻撃によって

全滅してもかまわないということか……

しかし今、その心配が現実化しようとしている。

日本列島が戦場となることを前提とした「有事立法」がそれだ。

「国民の生命と財産を守るため」というが

それは大ウソ！ 国民をだますのもほどほどにしなさい。

ミサイルの飛び交う近代戦争で

絶対に不可能な「作り話」ではないか。

沖縄をはじめ日本列島には、いたる所に米軍基地がある。

まさに日本は、米軍のための不沈空母だ！

米軍がアジアで戦争を始めれば

不沈空母日本が攻撃目標になる

それに備えて「有事立法」を、と急ぐのだろうか……。

小泉首相よ、そんな時代遅れの考えで、

国民の生命・財産を犠牲にするつもりなのか？

日本が破壊されて役に立たなくなれば

米軍はさっさと本国へ引きあげてしまいうだろう。日本を捨てて……。

日本の取るべき道は、ただ一つ

戦争を絶対に起こさぬことだ！

ブッシュの好戦的な行動を止めさせることだ！

アジア諸国のすべての人々と、家族のように仲良くし

世界に軍備なき平和を作ることである。

幾千万の戦争犠牲者の血は、世界平和を願い叫んでいる。

日本国憲法第九条は

「有事立法を廃案にして、世界平和を作りなさい」と命じている。

小泉首相よ、政府よ、国会よ、国民よ、

天の声が聞こえぬか！ ああ日本よ！

二〇〇二年九月八日（日）第四二七回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局

浜松市紺屋町三〇一ノ十五